

黒部市GIGAスクール 操作マニュアル



黒部市
CITY OF KUROBE

① Google Workspace for Education

Google Workspace
for Education



② Chromebook



1. Google Workspace for Educationでできること

1.1 Google Workspace for Education

1.2 Chromebook

2. Chromebookの操作について

2.1 端末操作の基礎知識

2.2 端末の基本操作

2.3 Google Classroom

1. Google Workspace for Educationで できること

1.1 Google Workspace for Education

Google社が教育機関向けに提供している
「Google Workspace for Education」、「Chromebook」
上記2つの要素からなるサービスです。



ツールも学習資料もすべてオンライン



Google Workspace for Education
(グーグルワークスペースフォーエデュケーション)

Google Chromeブラウザ上で
提供されるツール、アプリ群

ログインするだけで使えます



chromebook

クロームブック

堅牢で高速起動、
オンラインで一括管理が
可能なパソコン

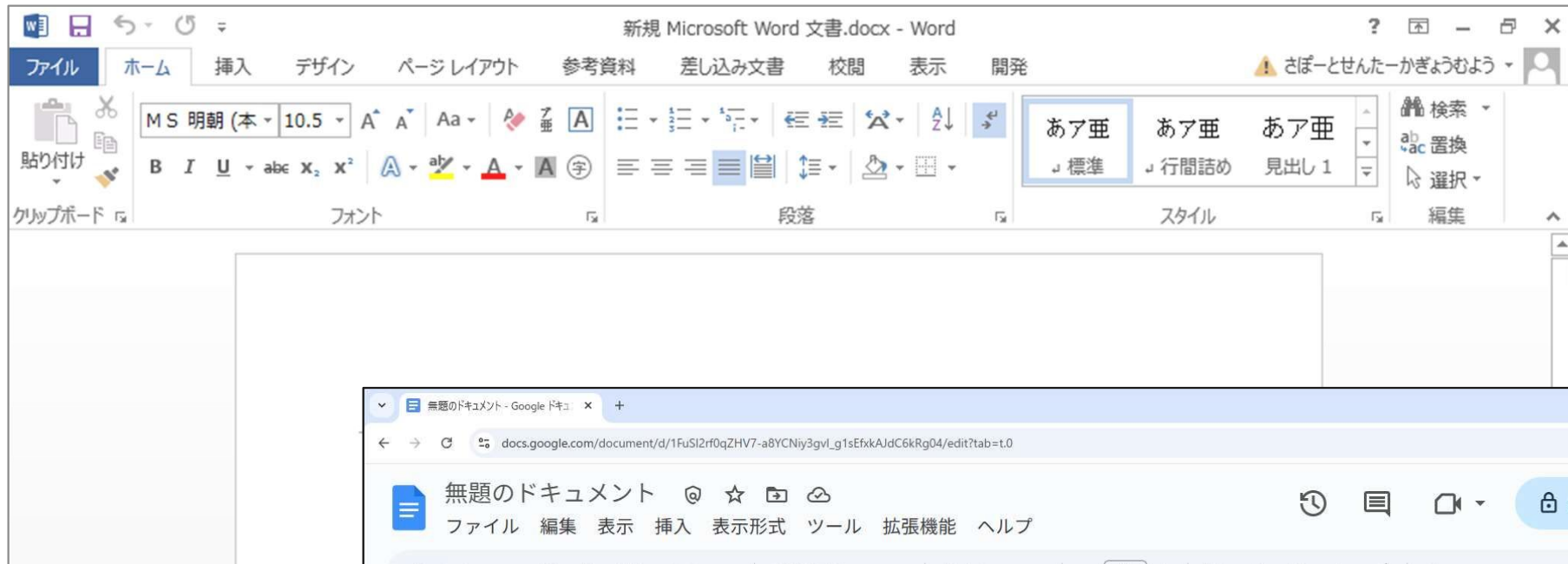
1.1 Google Workspace for Education

主なツール・アプリ

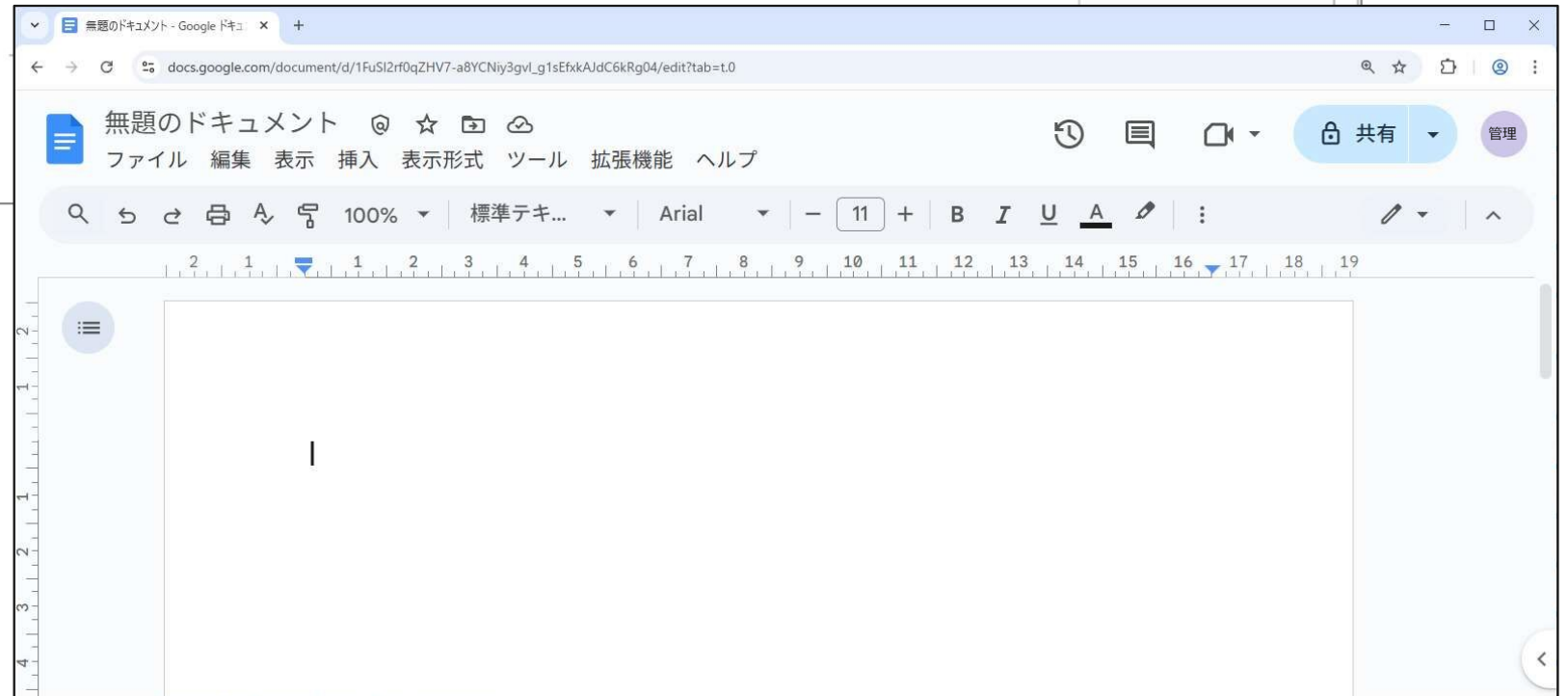
オフィス		ドキュメント	文書作成	=Microsoft Word
		スライド	プレゼンテーション	=Microsoft PowerPoint
		スプレッドシート	表計算	=Microsoft Excel
		Googleドライブ	クラウドストレージ	データの保存、共有に用いる
コミュニケーション		Meet	ビデオ通話	=Skype 遠隔授業や授業参観に用いる
		Chat	チャット	=Microsoft Teams 意見交換、グループワークを円滑に行う
		Gmail	メール	=Microsoft Outlook
クラス管理		フォーム	小テスト・アンケート作成	手軽に作成可能で集計も容易な小テスト、アンケートツール
		Google Classroom	授業管理	オンライン上のバーチャルクラスルーム
スケジュール・タスク管理		カレンダー	スケジュール管理	スケジュールの一括管理
		Keep	メモ	To Do管理が簡単に

1.1 Google Workspace for Education

文書作成アプリ



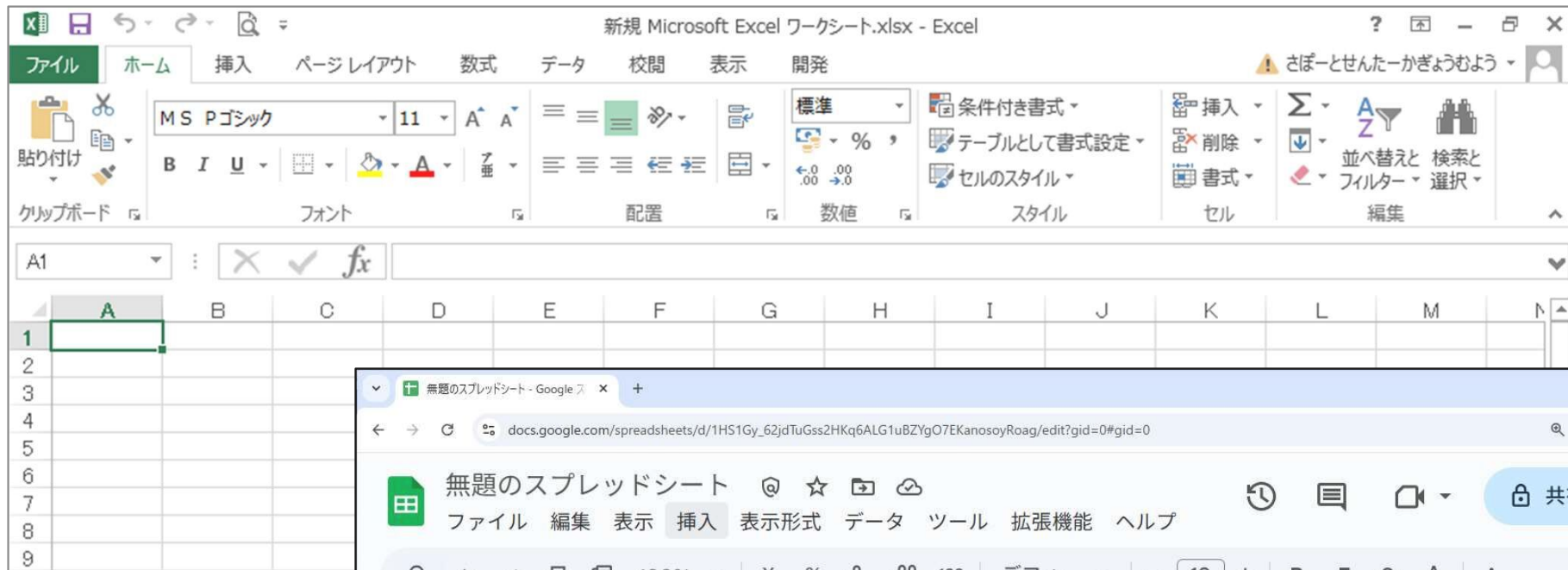
Word



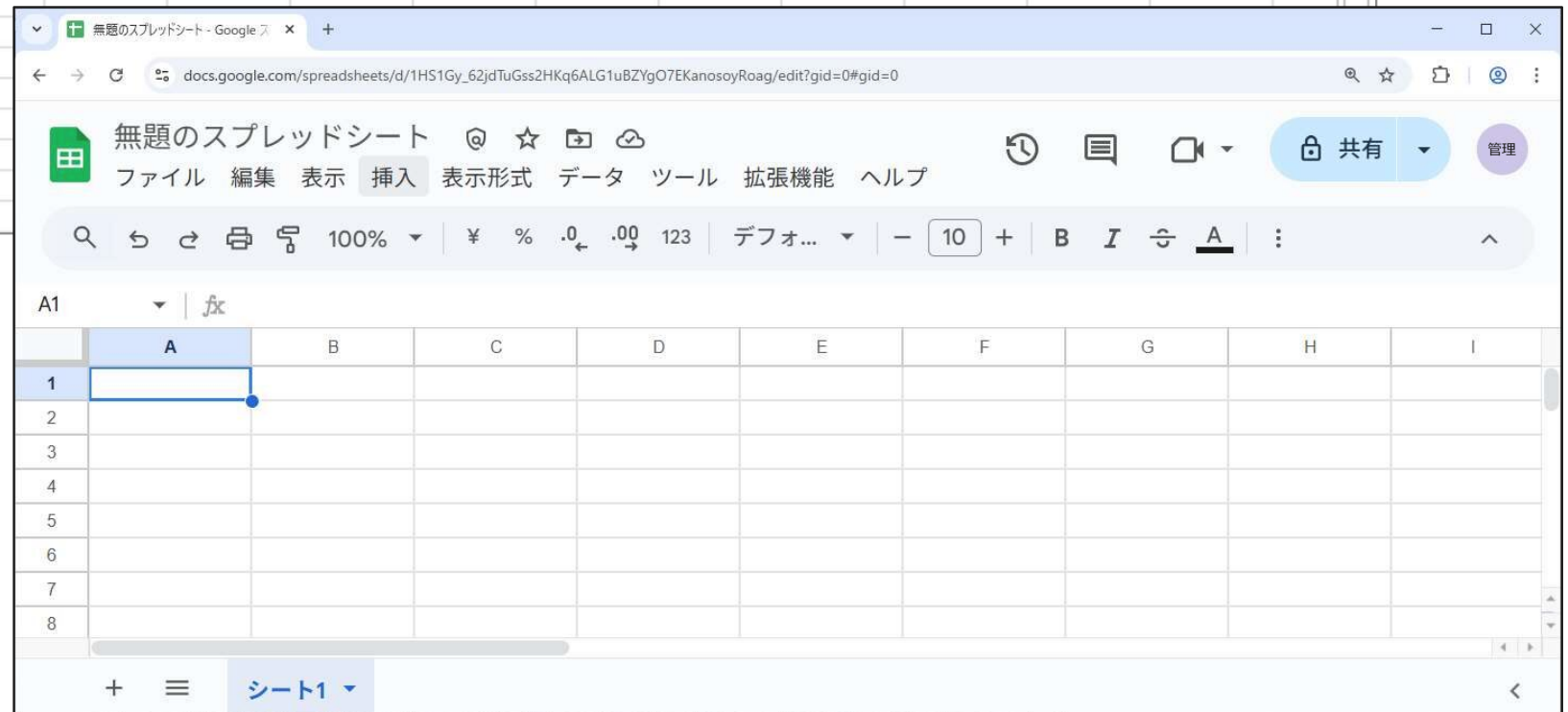
ドキュメント

1.1 Google Workspace for Education

表計算アプリ



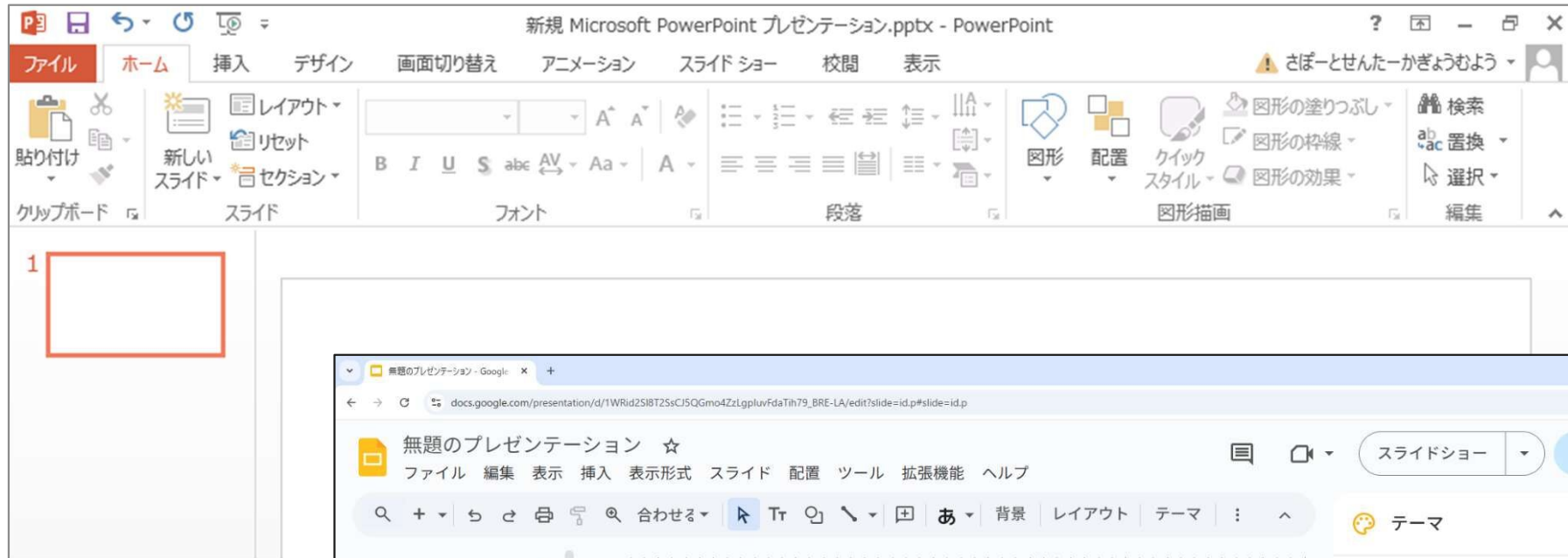
Excel



スプレッドシート

1.1 Google Workspace for Education

プレゼンテーションアプリ



PowerPoint



スライド

1.1 Google Workspace for Education

Googleドライブとファイルの保存



GoogleドライブとはGoogle社が提供しているクラウドストレージサービスで、アカウント毎に用意されたインターネット上の保存領域です。

Google Workspace for Educationのアプリで作成したファイルはGoogleドライブ内のマイドライブに保存されます。

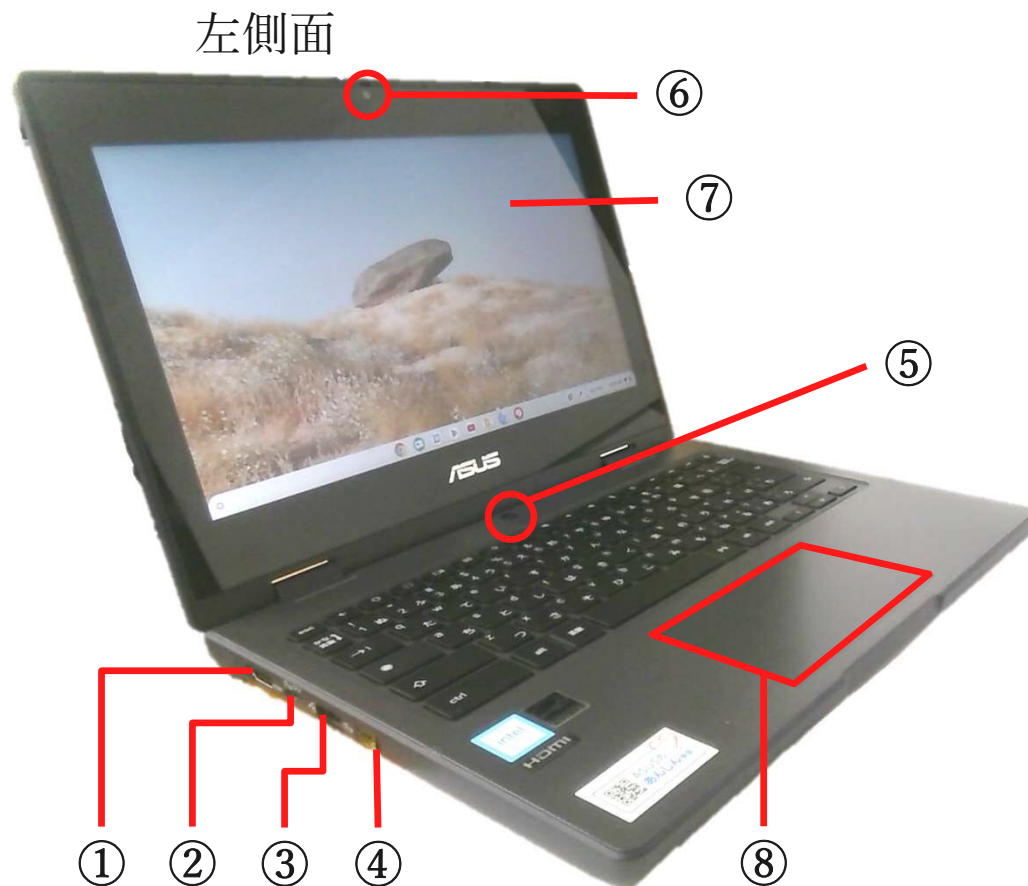
Google Workspace for EducationにおけるGoogleドライブの特徴

- ・大容量の保存領域が準備されています。
- ・ドキュメント等のアプリで作成したファイルは保存の操作をしなくても自動で保存されます。
- ・データの共有が簡単です。

2. Chromebookの操作について

2.1 端末操作の基礎知識

Chromebookの各部名称



- ①HDMI ポート
- ②USB Type-Cポート(電源兼用)
- ③USBポート
- ④タッチペン

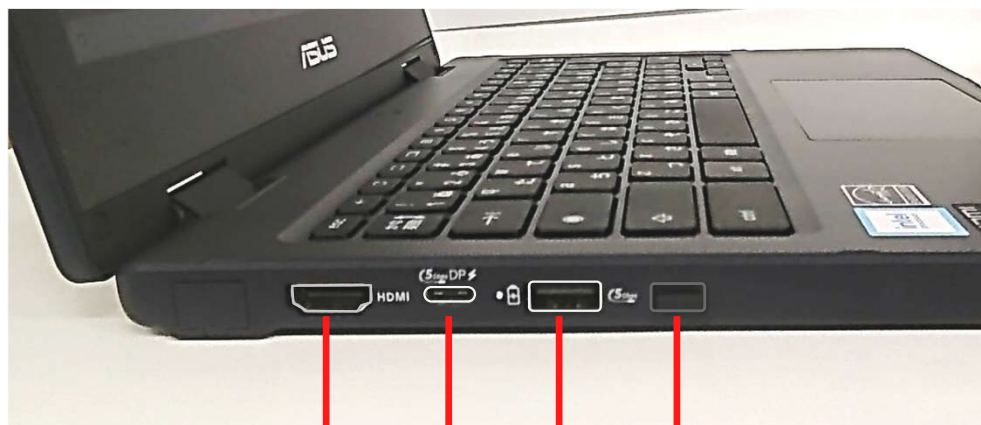
- ⑤アウトカメラ
- ⑥インカメラ、
プライバシーシャッター
- ⑦タッチパネル
- ⑧タッチパッド

- ⑨音量ボタン
- ⑩電源ボタン
- ⑪ヘッドフォン/マイク端子
- ⑫USBポート
- ⑬USB Type-Cポート(電源兼用)

2.1 端末操作の基礎知識

Chromebookの各部名称（側面）

左側面



① ② ③ ④

- ①HDMI ポート
- ②USB Type-Cポート(電源兼用)
- ③USBポート
- ④タッチペン

右側面



⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬

- ⑨音量ボタン
- ⑩電源ボタン
- ⑪ヘッドフォン/マイク端子
- ⑫USBポート
- ⑬ USB Type-Cポート(電源兼用)

2.1 端末操作の基礎知識

Chromebookのキーボードの機能

キーボードの最上段には
Chromebook固有のキーが配置されています。



・各キーの機能

- ①前のページに移動
- ②現在のページを再読み込み
- ③現在開いているウィンドウを全画面で表示
- ④開いているウィンドウをすべて表示
- ⑤スクリーンショット
- ⑥画面の明るさを下げる
- ⑦画面の明るさを上げる
- ⑧音声をオフにする
- ⑨音量を下げる
- ⑩音量を上げる
- ⑪マイクをオフ/オンにする
- ⑫ステータストレイを表示
- ⑬巻き戻し/再生・一時停止/早送り
- ⑭端末をロックする(長押し)
- ⑮日本語/英語入力切り替え
- ⑯検索(アプリとウェブを検索)
- ⑰Shift

・キーボードショートカット

スクリーンショットの撮影 (全画面)

Caps Lock オン/オフ

すべてのキーボードショートカットを表示する

ctrl +

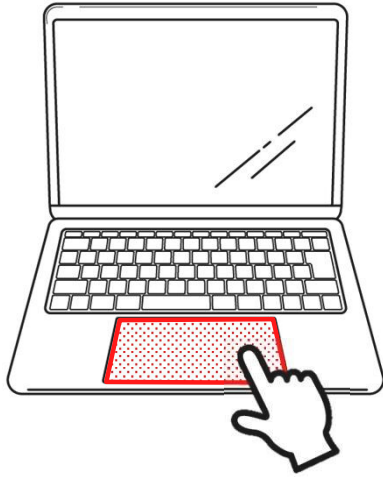
alt +

ctrl + +

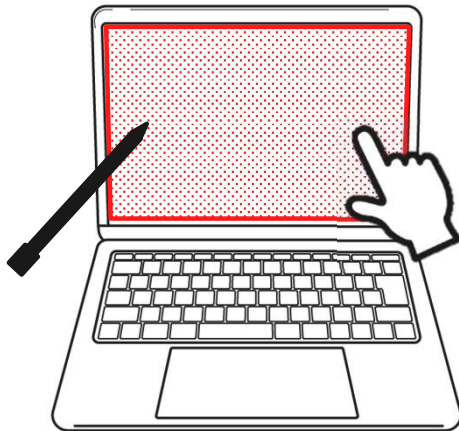
2.1 端末操作の基礎知識

Chromebookの操作方法

Chromebookは以下の操作方法に対応しています。



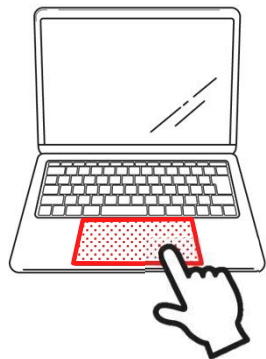
- ・ タッチパッドでの操作



- ・ タッチパネルでの操作
- ・ タッチペンでの操作

2.1 端末操作の基礎知識

タッチパッドでの操作



カーソルの移動		タッチパッドに1本指で触れた状態で、指をスライドさせます。
クリック、 ダブルクリック		タッチパッド下部を押し込むと「クリック」、短い間隔で2度押し込むと「ダブルクリック」ができます。
右クリック		2本指でクリックします。
スクロール		タッチパッドに2本指で触れた状態で、指をスライドさせます。
ドラッグ& ドロップ		移動させたいウィンドウの上端やファイルにカーソルを重ねた状態でクリックしたまま別の指でカーソル移動の操作を行い、任意の場所に移動した後に指を離します。

2.1 端末操作の基礎知識

タッチパネル、タッチペンでの操作



タップ		<p>=クリック</p> <p>1度のみ短時間だけ画面に触れます。</p> <p>短い間隔で2度触れればダブルクリックと同様の操作になります。</p> <p>2本指でタップするか、1本指で長押しすると右クリックになります。(タッチペンの場合は長押しのみ)</p>
スワイプ		<p>=スクロール</p> <p>1本指またはタッチペンで画面に触れたまま指をスライドさせます。</p>
ピンチイン、 ピンチアウト	 	<p>2本指で画面に触れたまま指を近づけると「ピンチイン」、遠ざけると「ピンチアウト」の操作になります。</p> <p>ピンチインで画面縮小、ピンチアウトで画面拡大します。タッチパッドでも同様の操作ができます。(タッチペンでの操作はできません。)</p>
ドラッグ		<p>移動させたいウィンドウの上部をタップしたまま（ファイルの場合は長押し後に指を離さずに）任意の位置までスワイプ後、指を離します。</p>

タブレットモード

通常スタイル(ノートパソコンスタイル)



タブレットモード



液晶部分を反対側まで折りたたむと、タブレットモードになります。
タブレットモードでは、ウィンドウは全画面で表示され、キーボードや
タッチパッドは使用できなくなります。

2.1 端末操作の基礎知識

カメラ撮影

通常スタイル(ノートパソコンスタイル)



タブレットモード



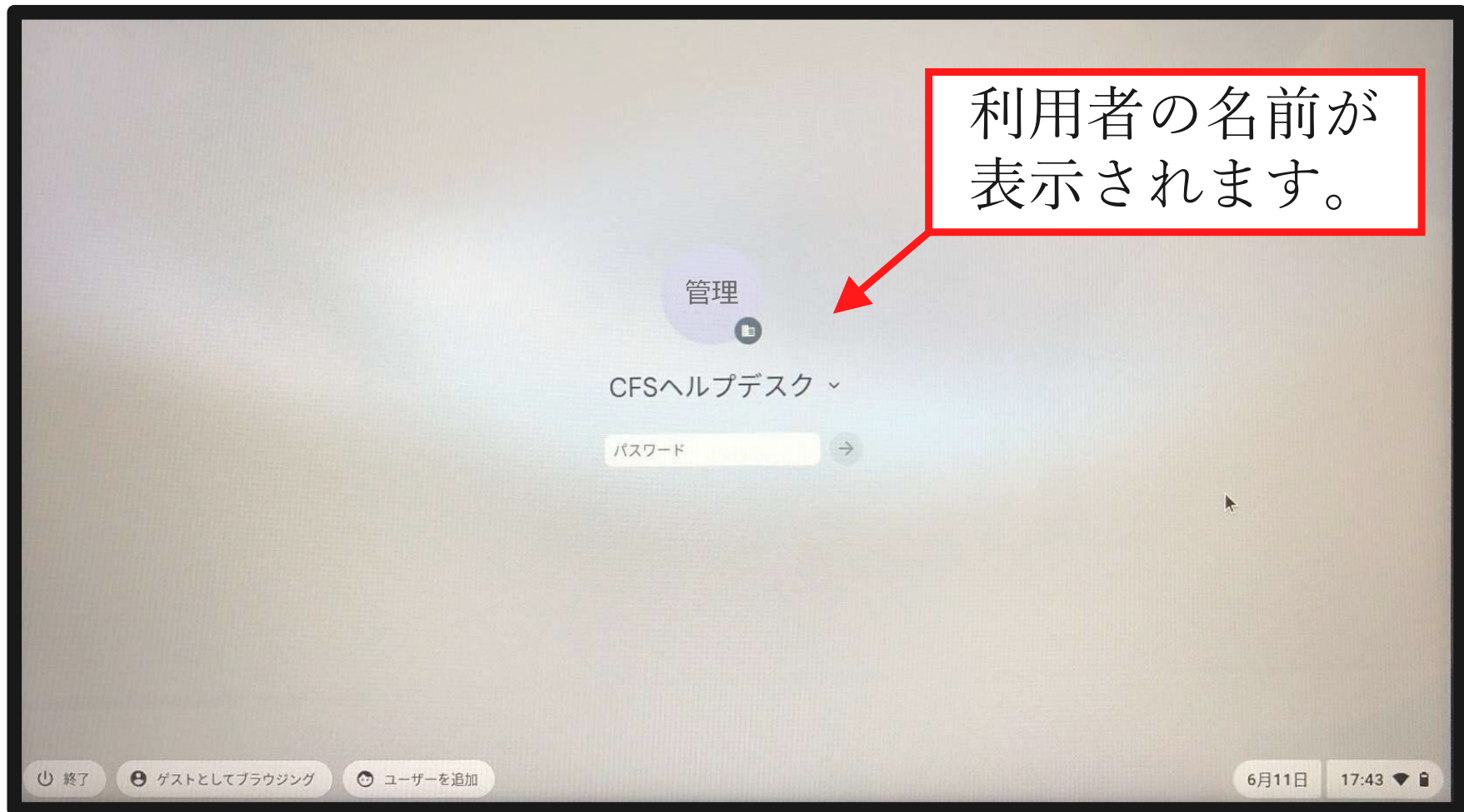
インカメラを利用する場合は通常スタイル、アウトカメラを利用する場合はタブレットモードを利用すると便利です。

撮影は、撮影ボタンをクリック（タップ）します。
タブレットモードのときは、音量ボタンを利用することもできます。

2.2 端末の基本操作

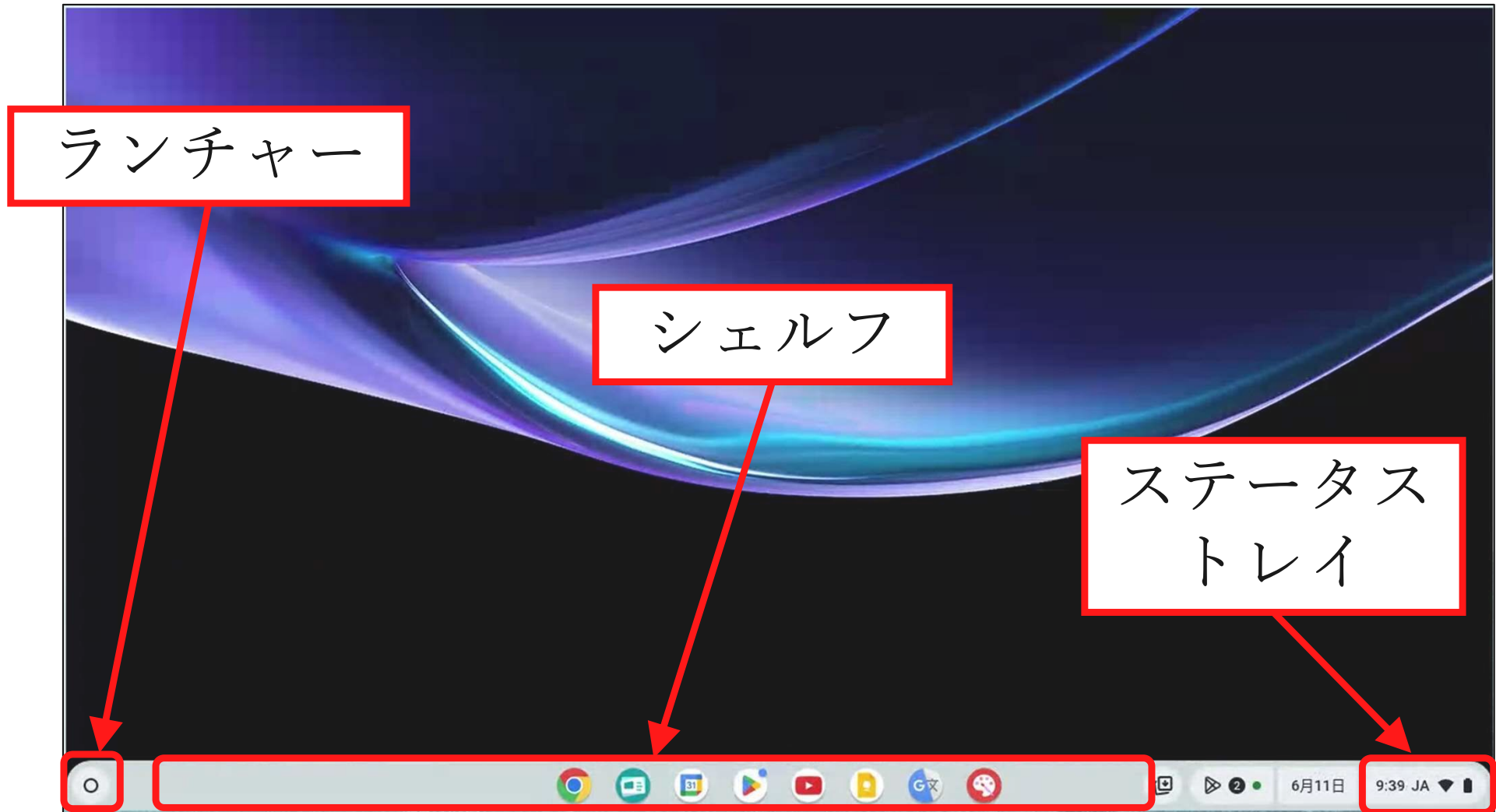
端末の起動とログイン

- ①Chromebookは画面を開くと自動的に電源が入ります。
- ②ログイン画面が表示されるので、ユーザー名が正しいことを確認した後パスワードを入力してログインします。



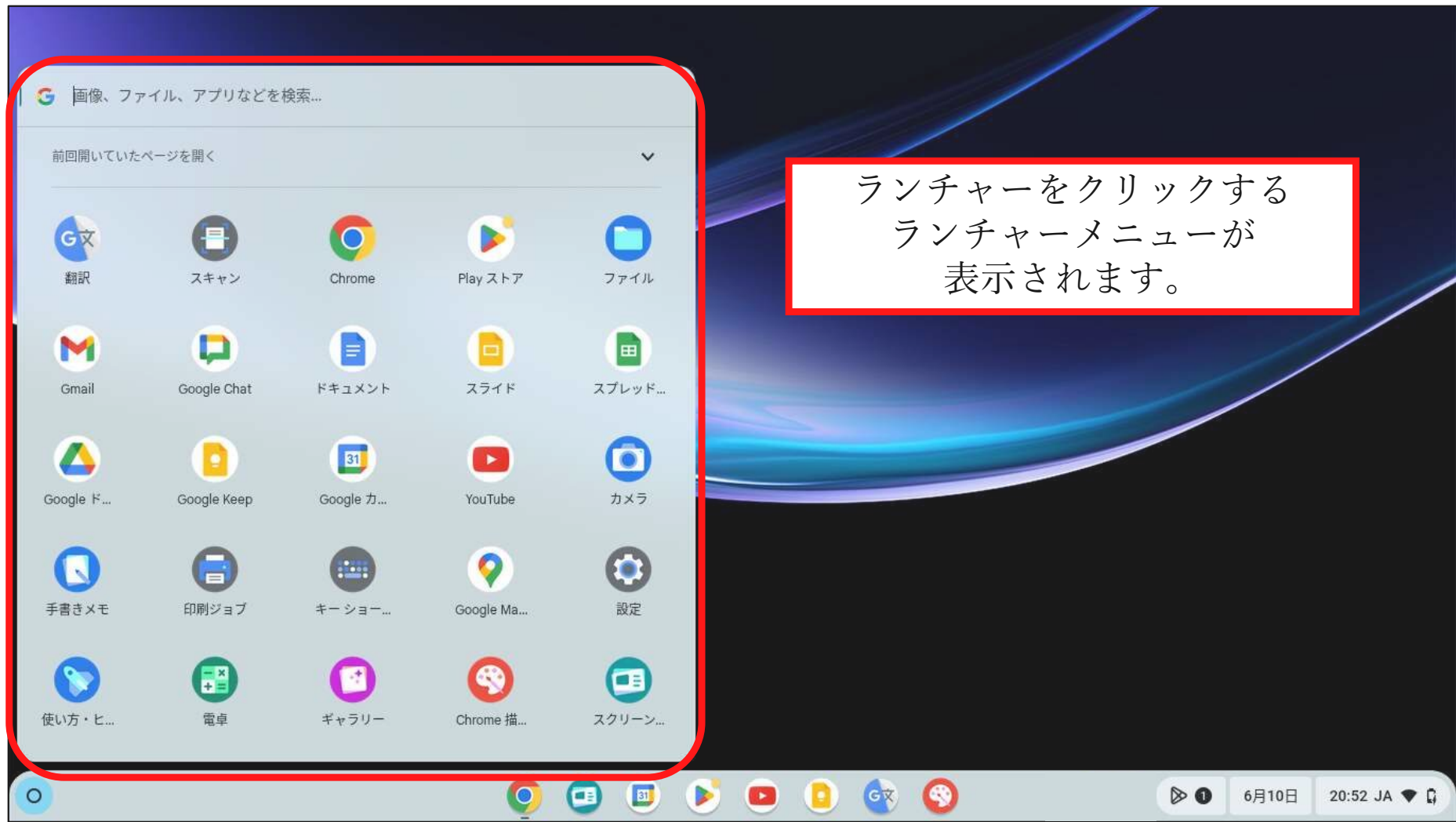
2.2 端末の基本操作

デスクトップ画面



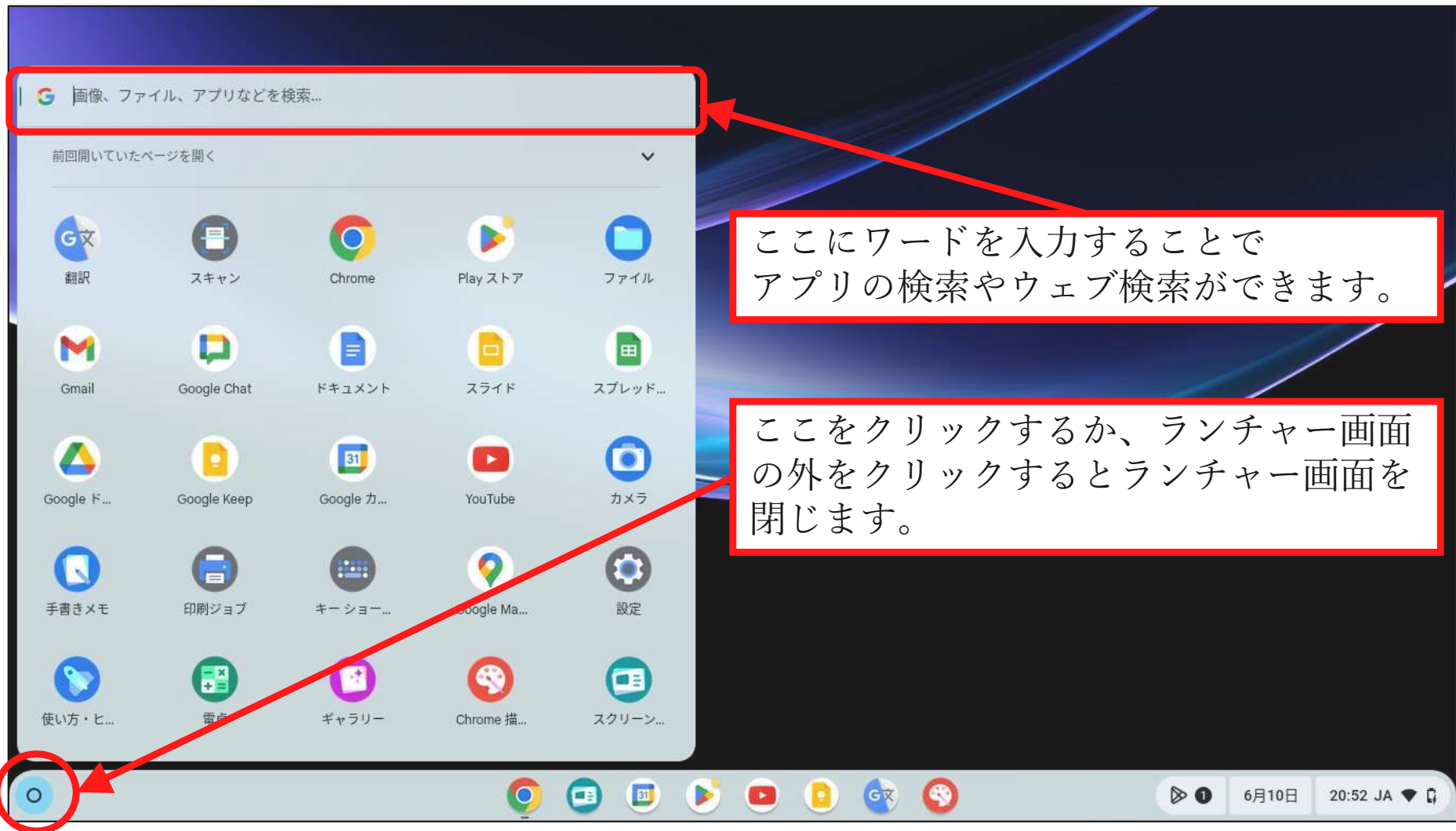
2.2 端末の基本操作

ランチャー画面



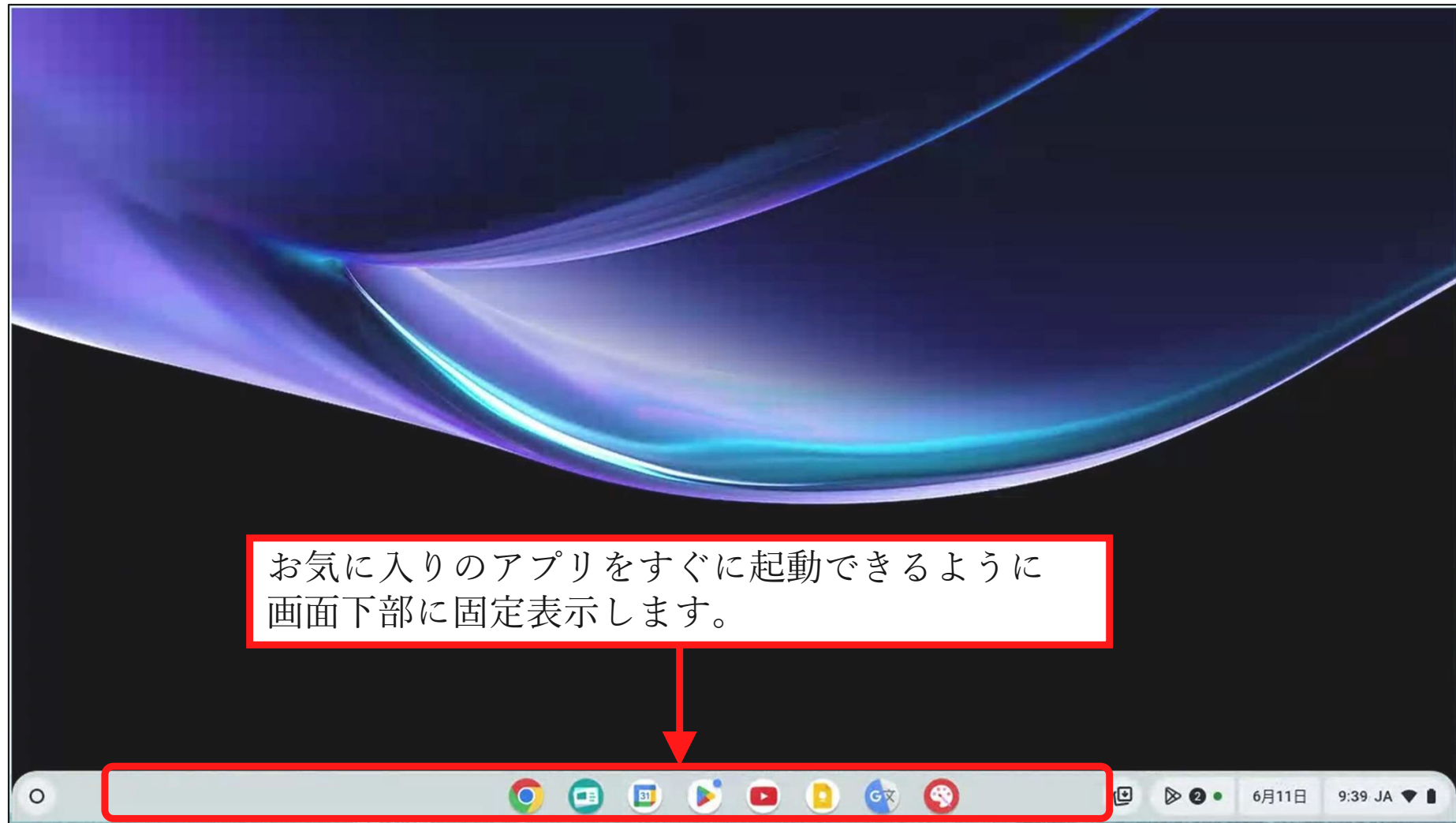
2.2 端末の基本操作

ランチャー画面



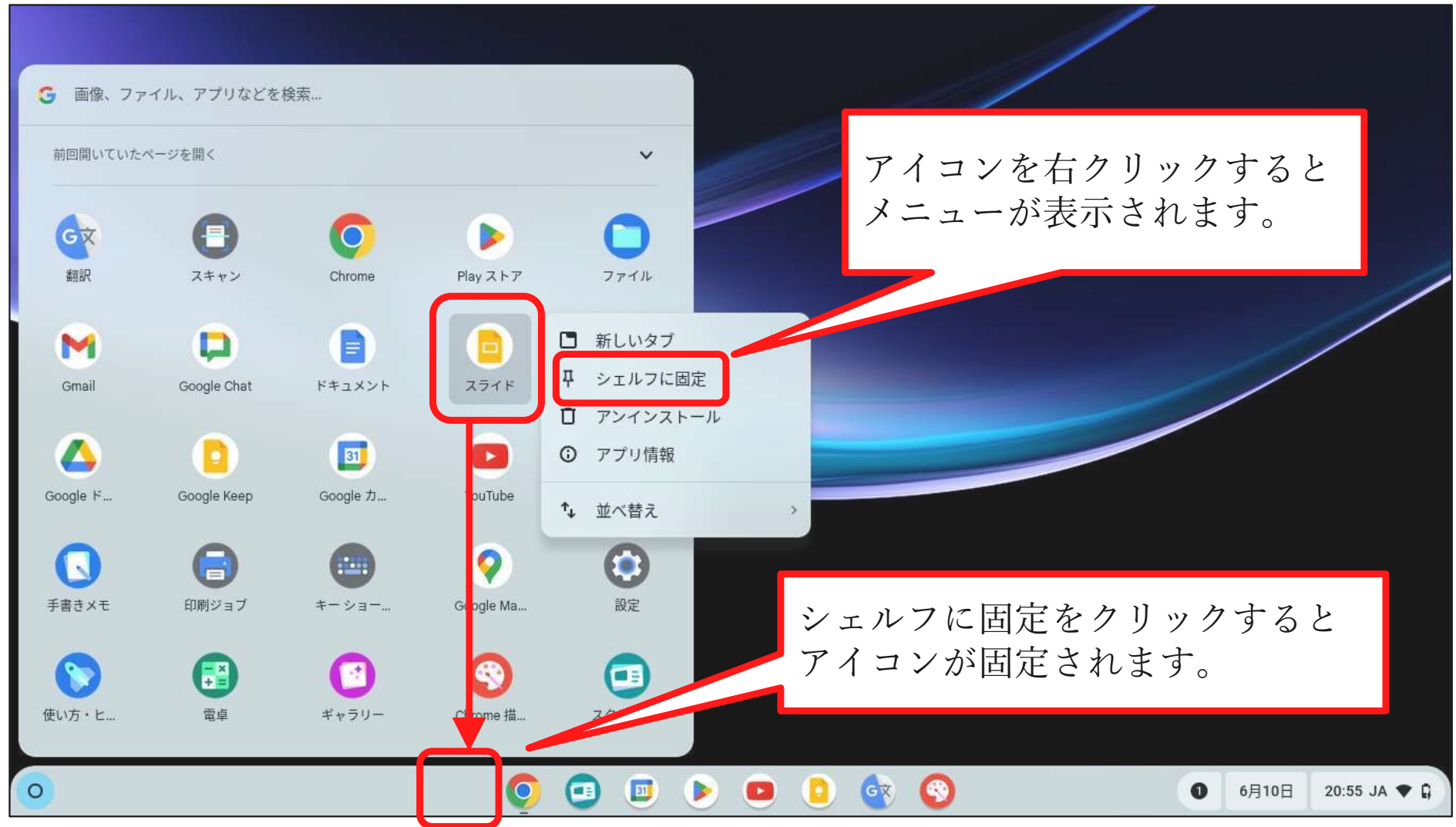
2.2 端末の基本操作

シェルフ



2.2 端末の基本操作

シェルフにアプリを追加



2.2 端末の基本操作

ステータストレイの詳細画面

ステータストレイをクリックすると
詳細画面が表示されます。
もう一度クリックするか詳細画面の
外をクリックで閉じます。



2.2 端末の基本操作

ステータストレイの詳細画面



アイコンをクリックするとWi-Fiなどの無線通信やキーボードの入力方法の切り替えができます。ON/OFFの切り替えができる項目はアイコンの色で状態を判別することができます。（青色ならON）

音量、画面の明るさをスライダーを左右に動かすことで調整できます。

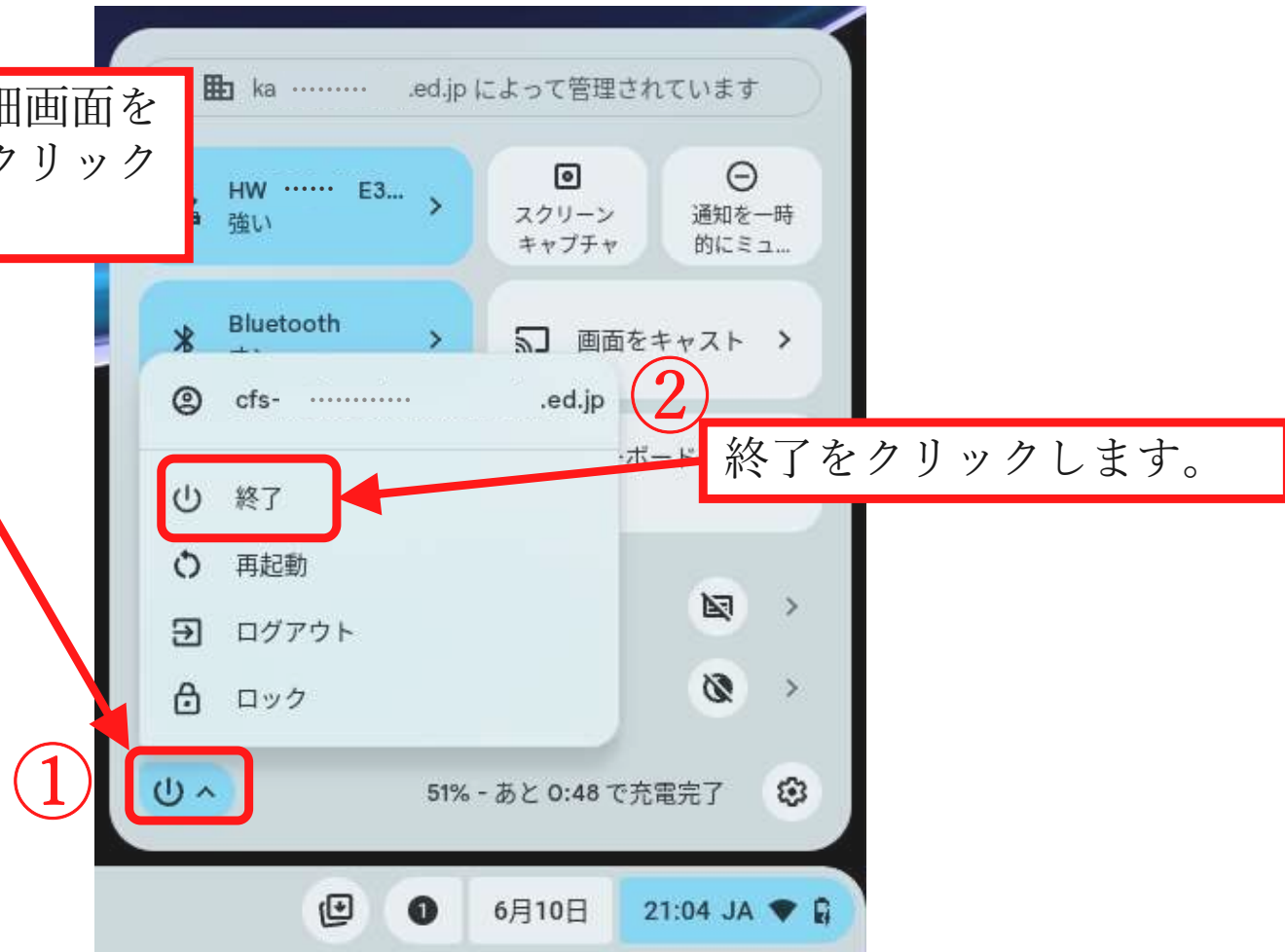
ユーザーの切り替えやシャットダウン、設定画面の表示などができます。

2.2 端末の基本操作

端末の終了

端末の電源を切るにはステータストレイの詳細画面を開いた後に電源アイコンをクリックします。

ステータストレイの詳細画面を開き、電源アイコンをクリックします。

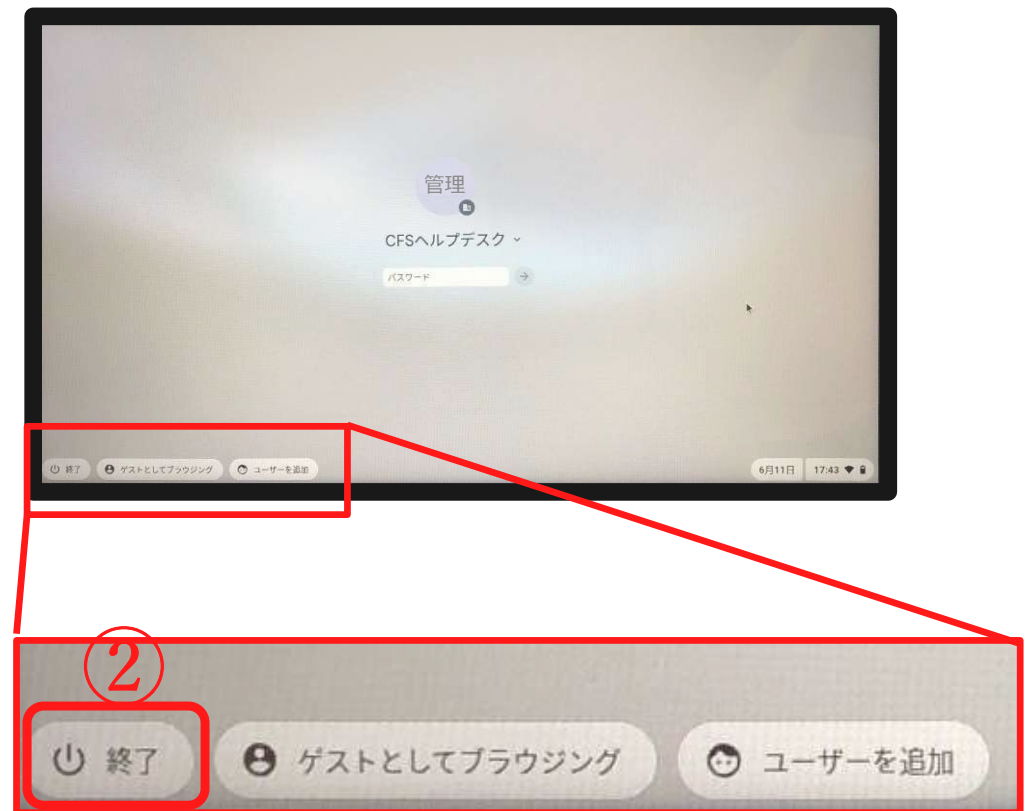
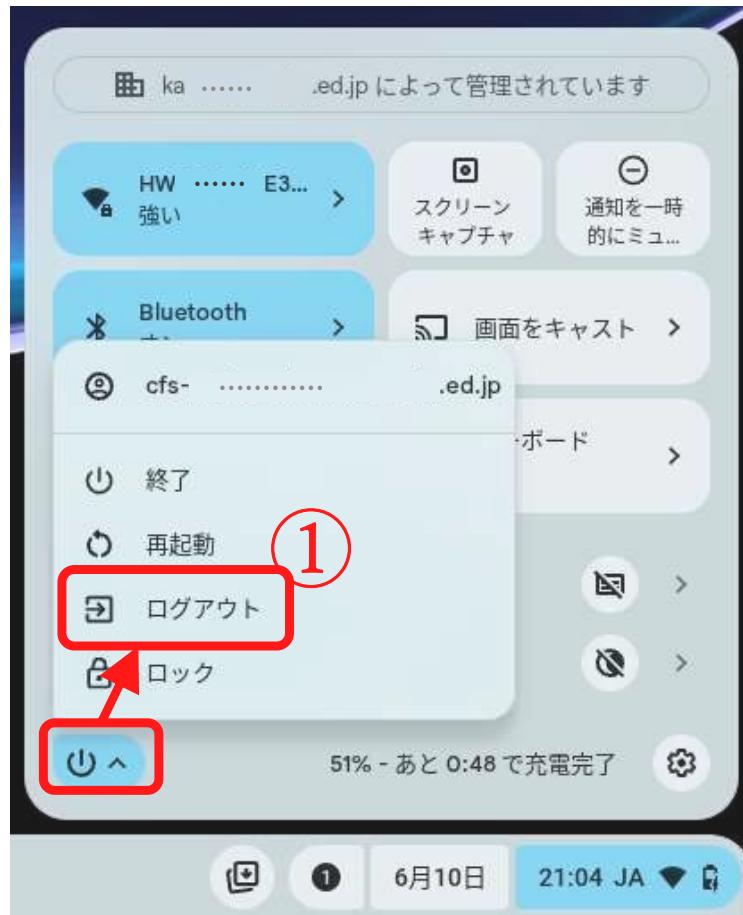


2.2 端末の基本操作

端末の終了

前述の電源アイコンをクリックして端末の電源を切る方法とは別に、以下の方法でも電源を切ることができます。

- ①ステータストレイの詳細画面から電源アイコンをクリックし、「ログアウト」を選択します。
- ②ログイン画面左下の「終了」をクリックします。

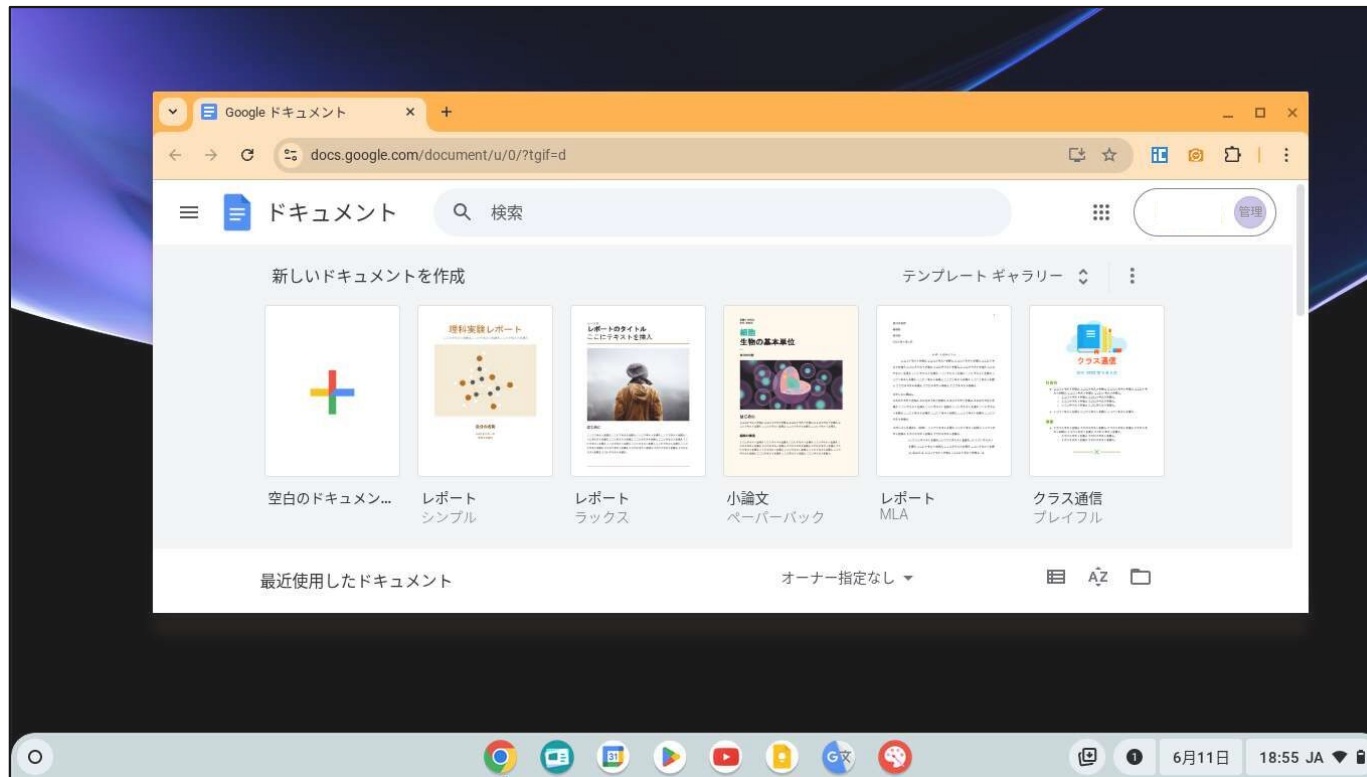


2.2 端末の基本操作

アプリの起動

Google Workspace for Educationで提供されるアプリはブラウザ上で動作します。
アプリの起動には以下の4つの方法があります。

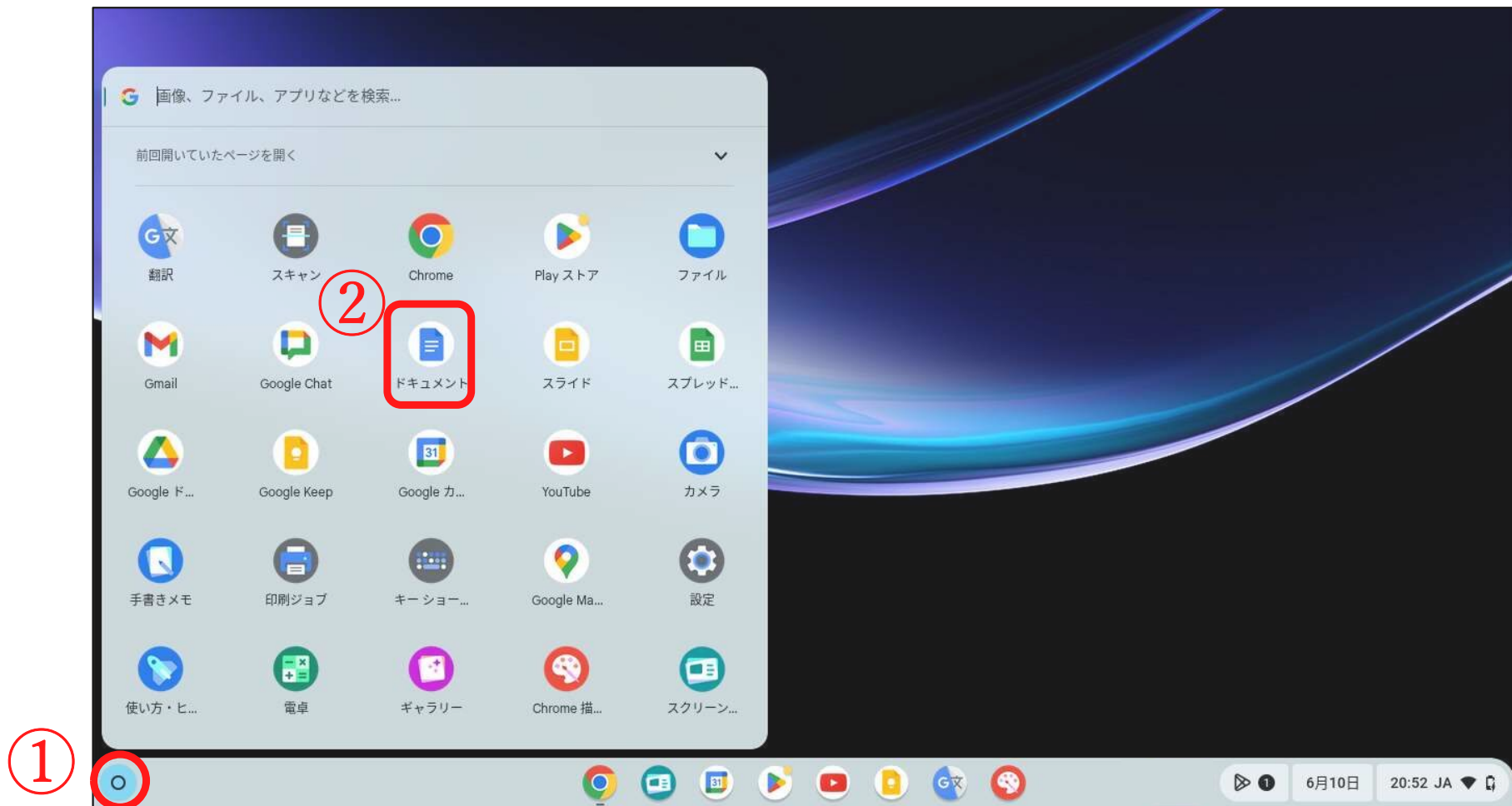
- ・ランチャーのアプリ一覧から起動
- ・ランチャーからアプリを検索し起動
- ・シェルフからアプリを起動
- ・ブラウザからアプリを起動



2.2 端末の基本操作

ランチャーのアプリ一覧からアプリを起動

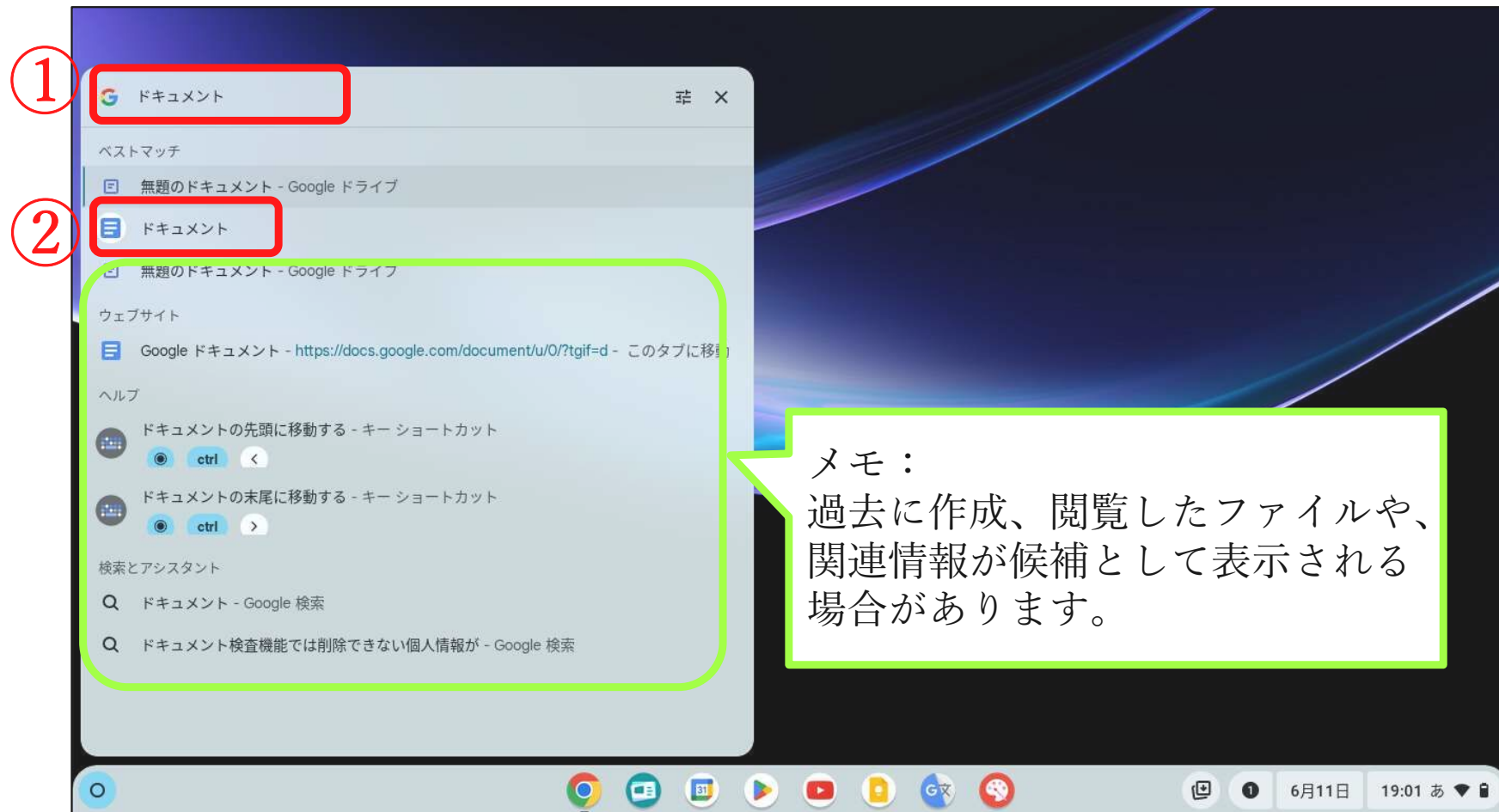
- ①ランチャーのアプリ一覧を開きます。
- ②起動したいアプリのアイコンをクリックします。



2.2 端末の基本操作

ランチャーからアプリを検索し起動

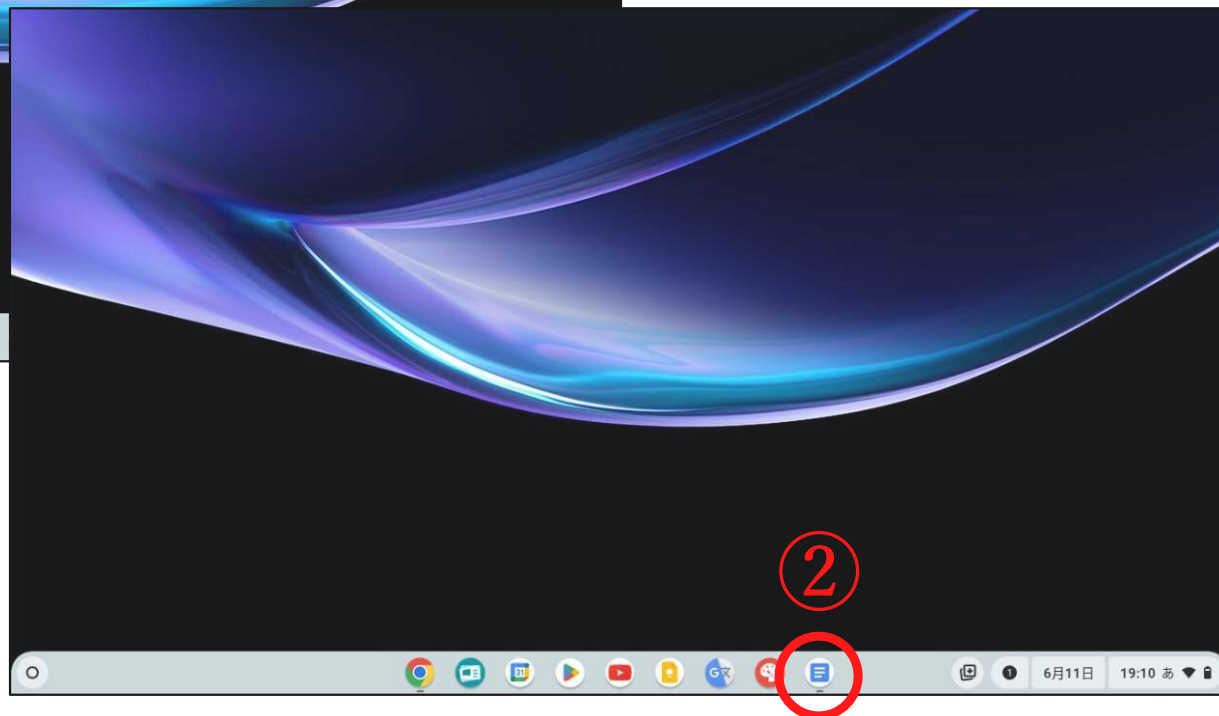
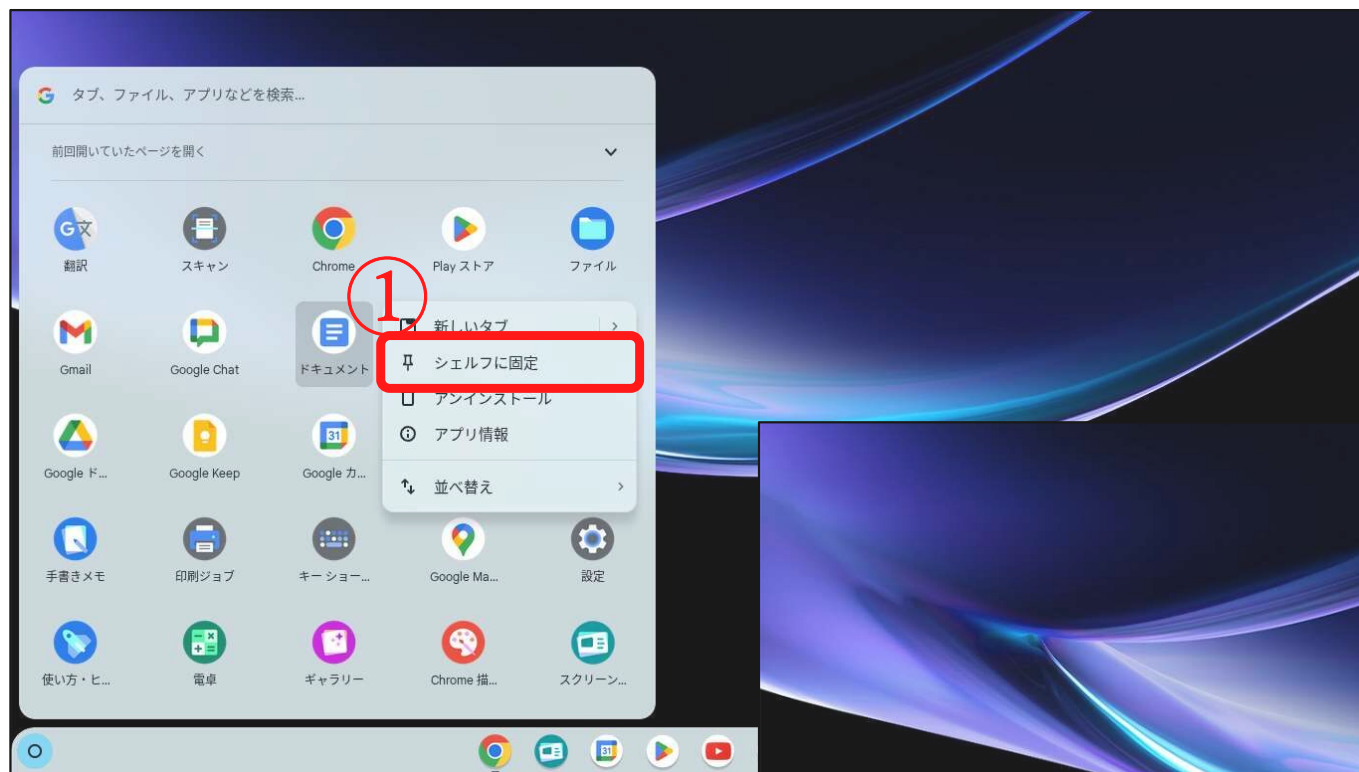
- ①ランチャー画面を開き、検索ボックスに起動したいアプリの名称を入力します。
(例：ドキュメント)
- ②候補が表示されるので起動したいアプリをクリックします。



2.2 端末の基本操作

シェルフからアプリを起動

- ①ランチャーのアプリ一覧を開き、よく使うアプリをシェルフに固定しておきます。
- ②シェルフに固定されているアプリのアイコンをクリックして起動します。



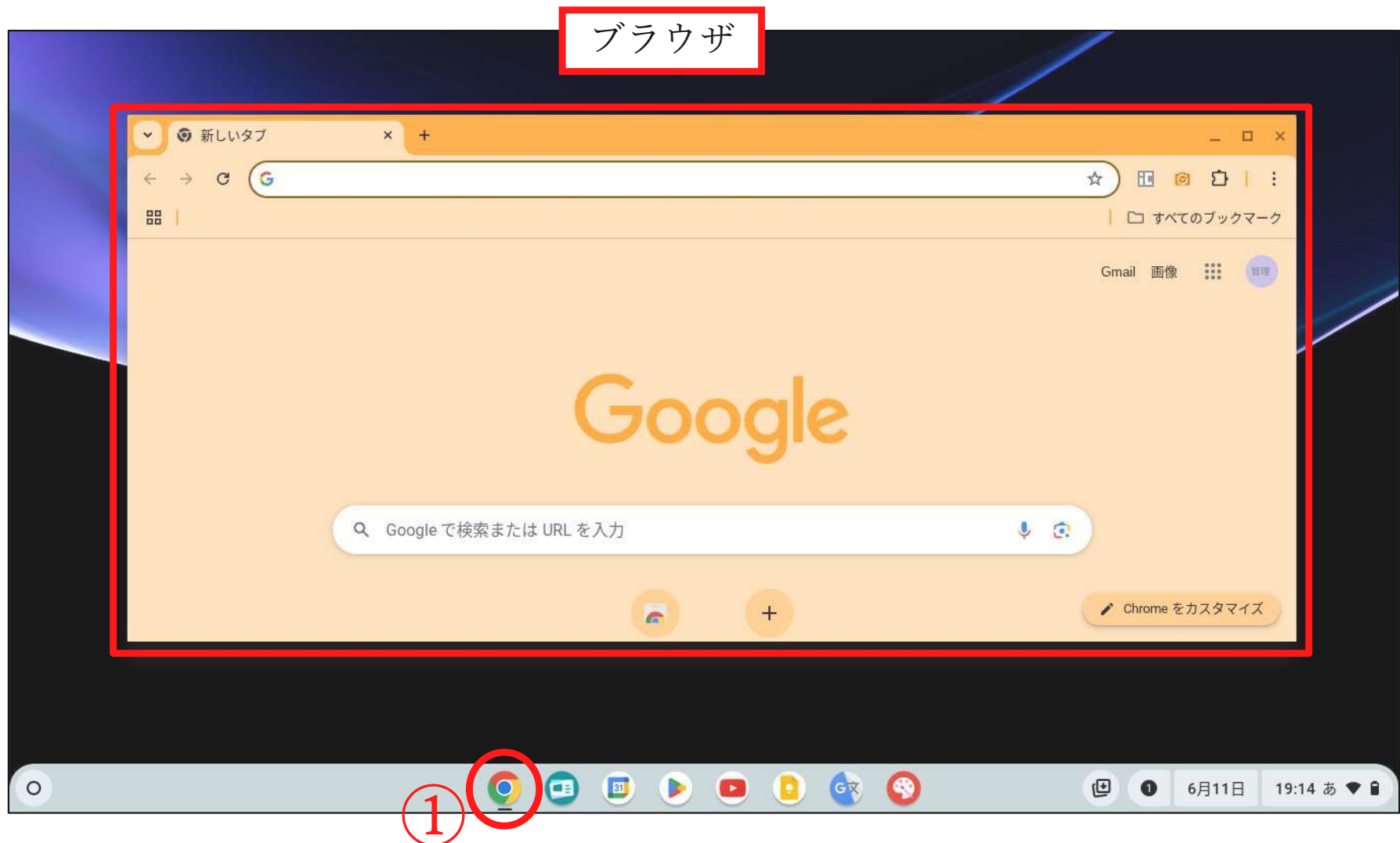
2.2 端末の基本操作

ブラウザからアプリを起動

- ①ブラウザのアイコンをクリックしてブラウザを起動します。



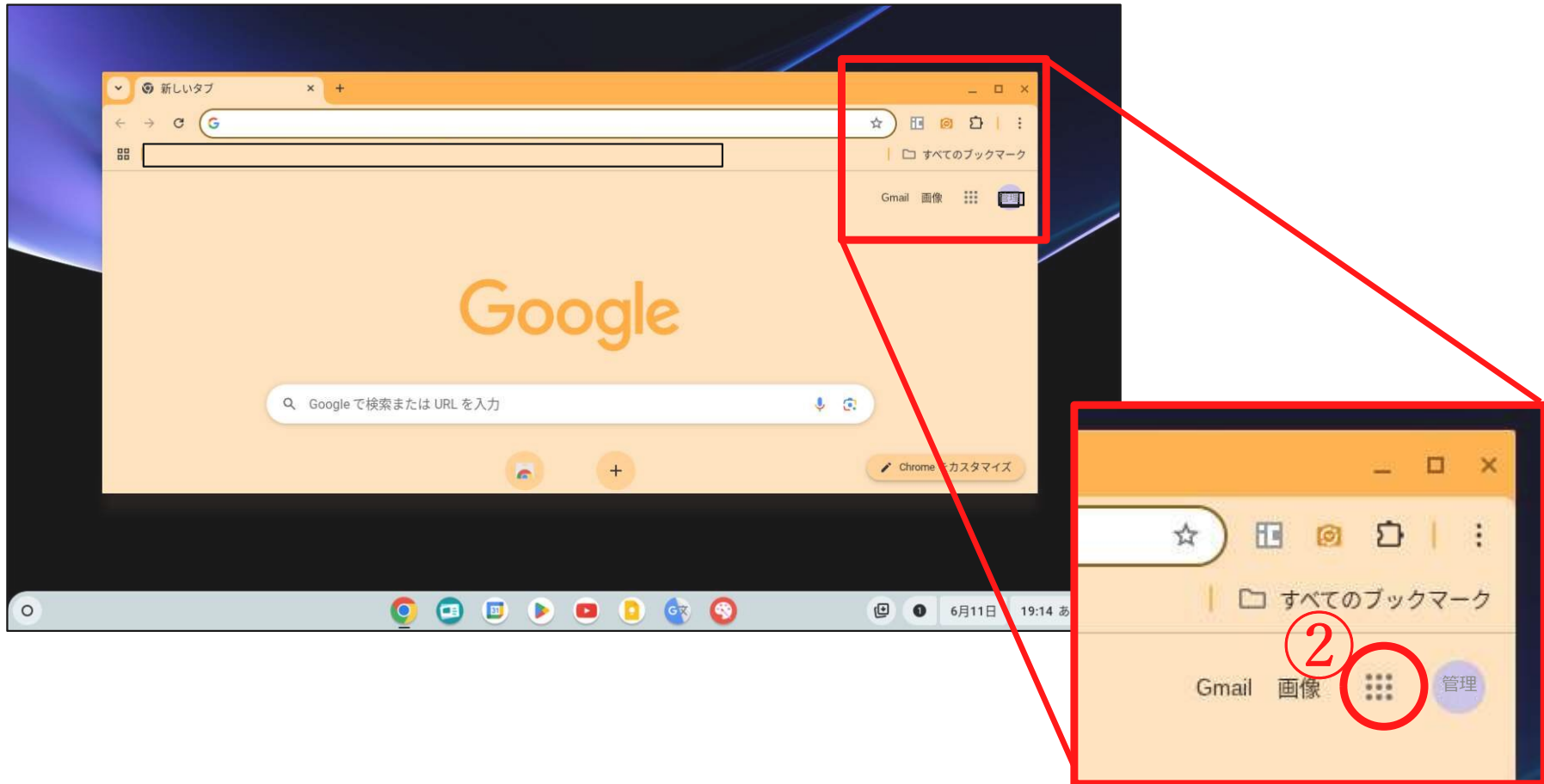
：ブラウザアイコン



2.2 端末の基本操作

ブラウザからアプリを起動

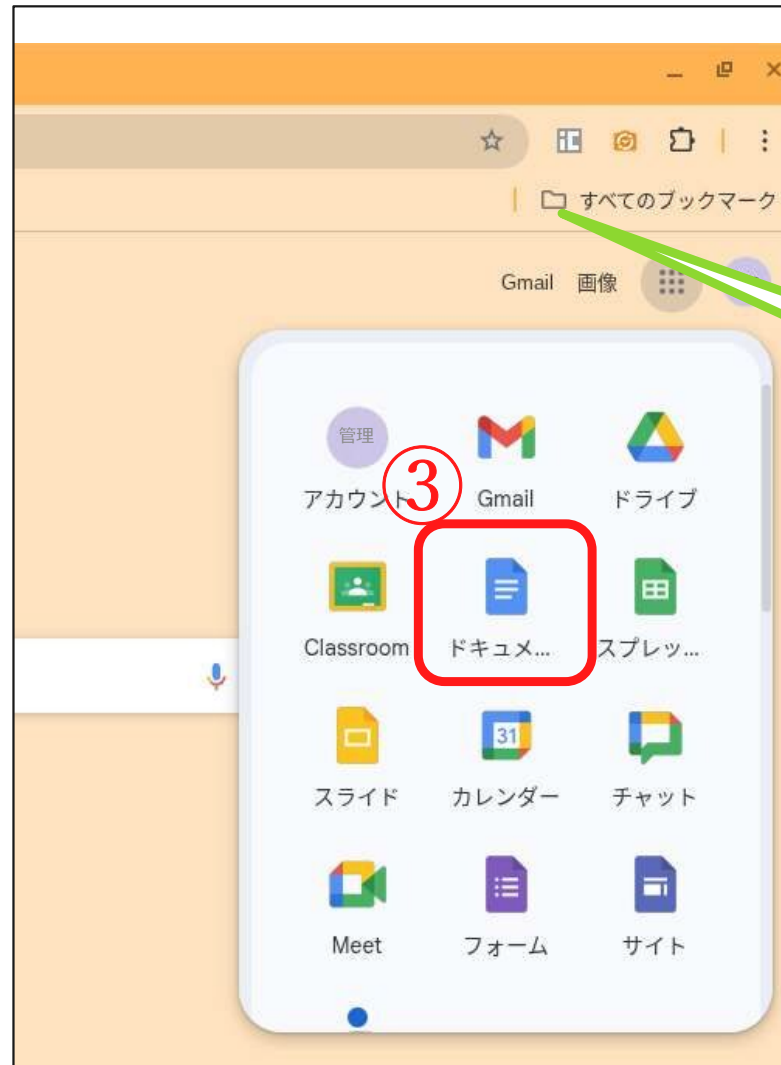
② ブラウザ画面右上にあるGoogleアプリ  をクリックします。



2.2 端末の基本操作

ブラウザからアプリを起動

③アプリが一覧形式で表示されるので、起動したいアプリをクリックします。



メモ：
ブックマークバーから
アプリを起動すること
もできます。

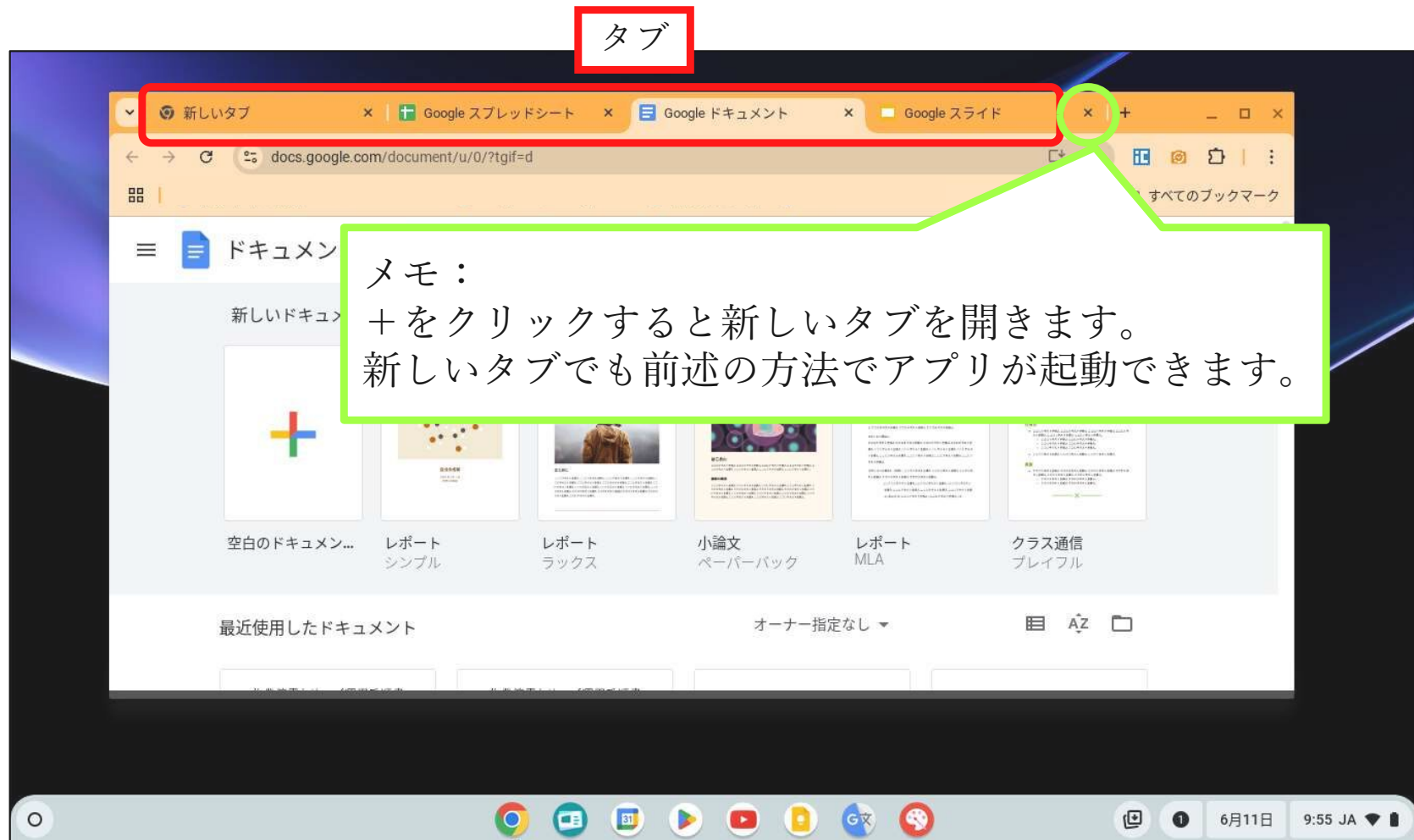
2.2 端末の基本操作

アプリの切り替え

アプリを複数起動した場合、ブラウザ上部に「タブ」と呼ばれる項目がアプリごとに表示されます。

タブには開いているアプリの名称が表示されています。

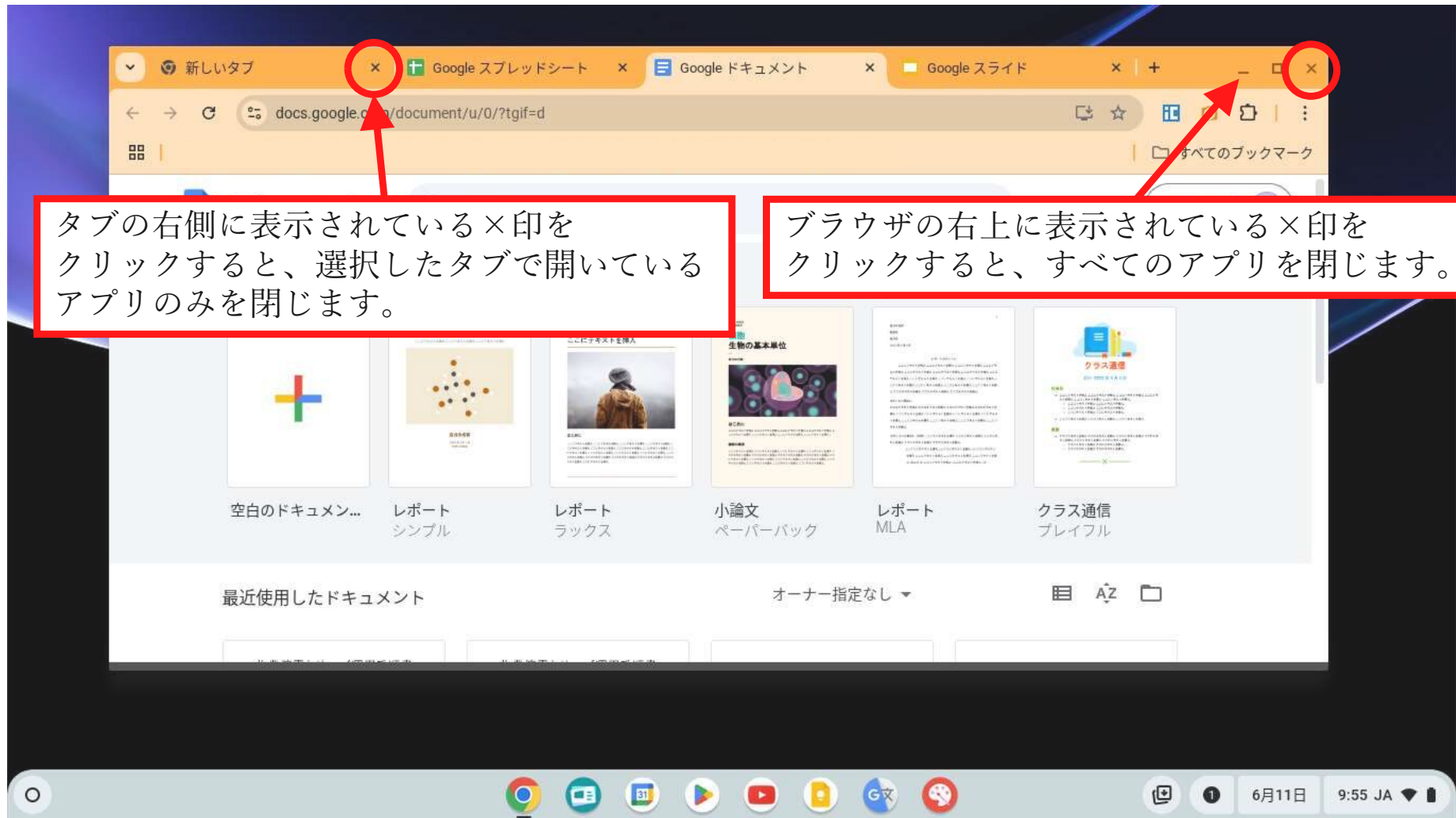
操作したいタブを選択することでアプリを切り替えることができます。



2.2 端末の基本操作

アプリの終了

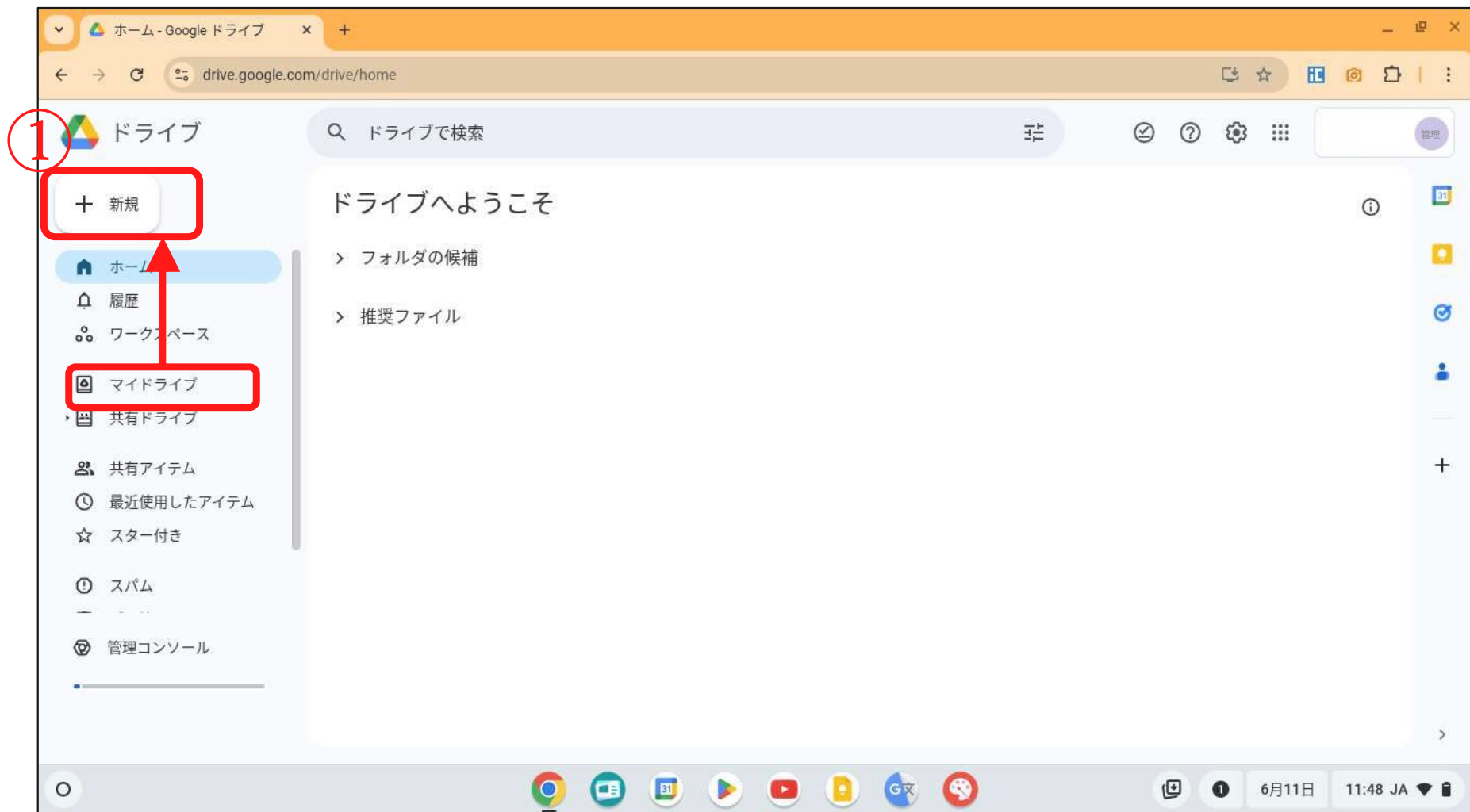
アプリのデータは自動保存されているので保存の操作は必要ありません。



2.2 端末の基本操作

新しいフォルダ、ファイルの作成

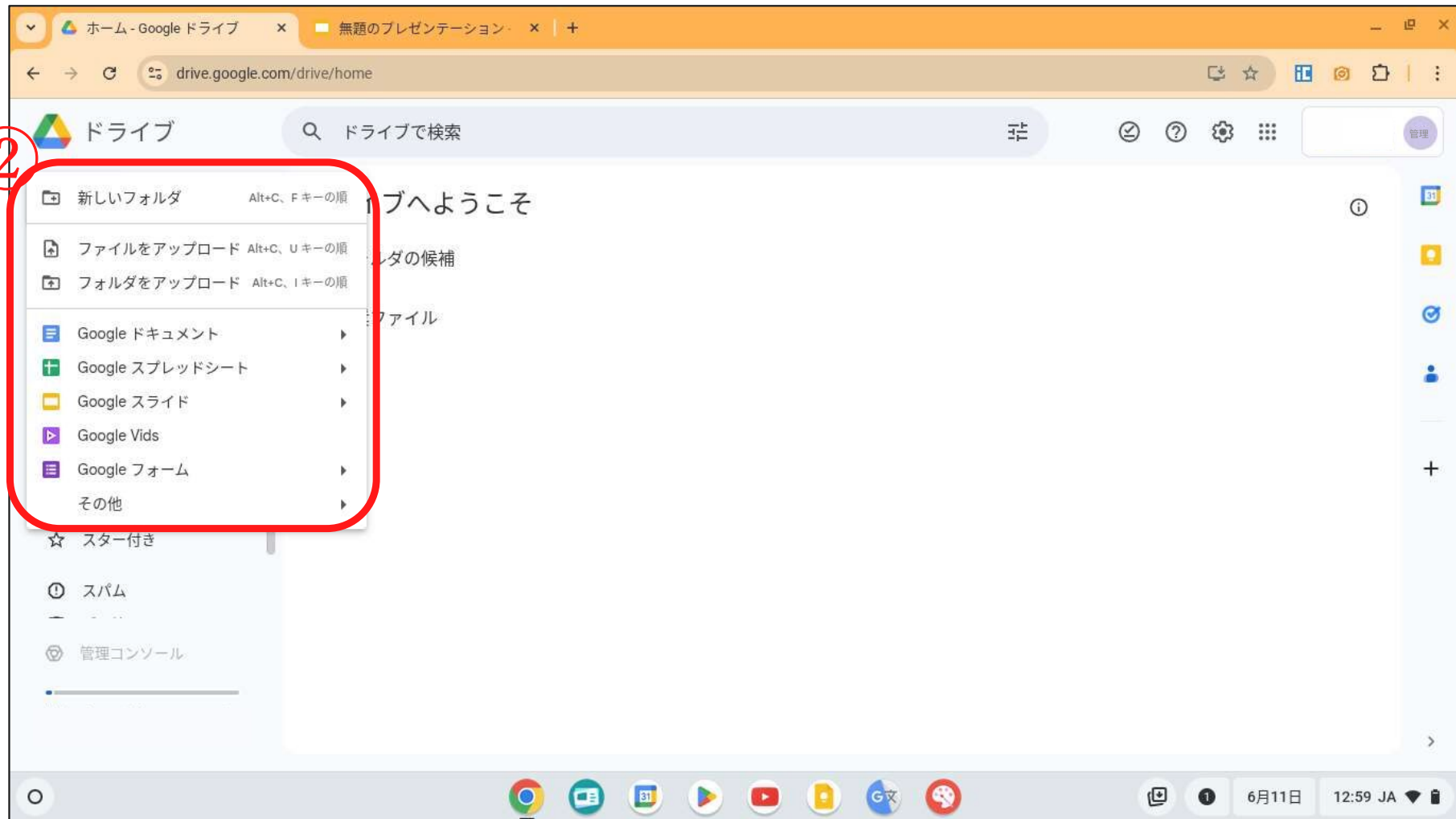
- ①Googleドライブのマイドライブを表示した状態で、画面左上にある「新規」をクリックします。



2.2 端末の基本操作

新しいフォルダ、ファイルの作成

- ②メニューが表示されるのでフォルダを作成したい場合は「新しいフォルダ」を、ファイルを作成したい場合はそのファイルを開くアプリを選択します。



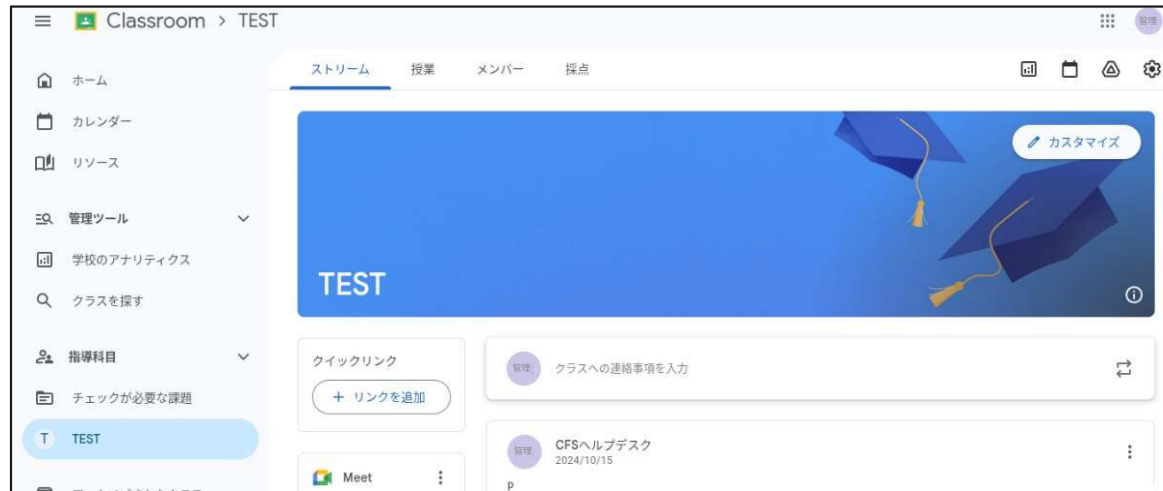
2.3 Google Classroom

Google Classroomは授業支援ができるアプリです。



例えば

- ・ クラスへのお知らせや資料の配信
→プリント紛失の心配がありません。
- ・ 先生と生徒や生徒同士でのコミュニケーションや質問の場を提供
→自発的なコミュニケーションを促します。
- ・ 課題やテストの配布、採点、返却
→業務の効率化で時間を有効に使えます。
- ・ 成績の管理
→テストの結果、課題も1年を通じてひとまとめにできます。



2.3 Google Classroom

ルームを開く

Google Classroomを開くと作成済みのルームが表示されます。
ルームを開くには対象のルームを選択します。

